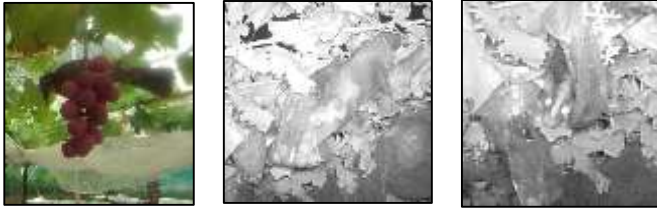


ブドウ園の鳥獣害対策

短梢栽培園で有効な袋状ネットによる対策

1 ブドウの鳥獣害被害



ブドウ園の主な害獣はムクドリ、ヒヨドリ、カラス、タヌキ、ハクビシン、イタチ、アナグマなどである。ブドウの香りが出始める頃から被害が目立ち始める。香りの多い品種ほど狙われやすく、香りの少ない品種の方が被害は少ない。

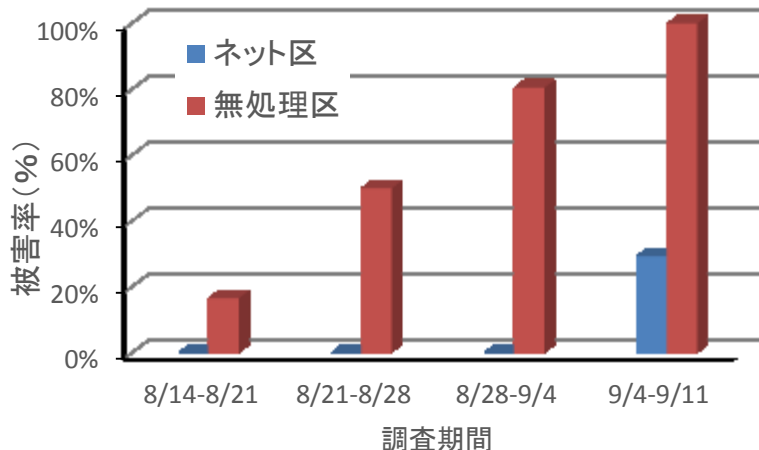
2 ネット被覆による対策

(独)果樹研究所の東らが報告した「袋状ネットの利用による短梢せん定栽培ブドウの鳥獣害対策の省力化」(園学研. 10 (1) : 55-60. 2011.)を参考に、実証試験を行った。



写真の様に果房を防風ネット、防鳥ネットで被覆して鳥獣害を防ぐ。ネットの開口部は洗濯ハサミで留めるので、設置および取り外しは簡単。

3 鳥獣害の防止効果



安芸クイーンにおける被害率の推移



ネット区は鳥獣害を大幅に軽減できるが、無処理区の果実が食べ尽くされるとネット区でも食害される場合もあった。

4 まとめ

短梢せん定樹では、ネットの設置が簡単で鳥獣害を大幅に軽減することができた。しかし、ネットの上から食害される場合もあるので、その他の鳥獣害対策(電気柵、テグス)と併用することが望ましい。